



時代や気候に合わせて臨機応変に 柔軟に対応できる経営を目指します



輝くみらい人

平賀東支店管内

長内 光史 さん (42歳)

おさない みつふみ

作付品目：ミニトマト、りんご

○農業を始めたきっかけ

家がりんご農家で、いずれは後を継がなければと思っていただけでもあり、前職を退職した時に就農することを決めました。当時は、りんごだけでは生計を立てていくのが難しいと言われていたため、就農支援の研修制度を利用して、平川市で作付けが増えていたミニトマトの栽培について学びました。

○農業で大変な思いをした時

数年前の大雨でビニールハウスが水没したり、病気が発生した時はその対応に追われることもありました。その時は大変な思いをしましたが、そういった経験から得たことを自分の知識にすることができました。

○今後の経営について

近年の猛暑や生産資材の高騰などの影響で、年々農業にとって厳しい状況になってきていますが、高温対策として暑さに強い品種のミニトマトを作付けするなど、その時々に応じた栽培をしていきたいと考えています。

○将来の夢や目標について

この先、後継者不足などで地域の生産者数が減っていくと思うので、地域の農地を維持できるように、りんごの栽培面積の拡大を図りたいと考えています。また、自分の子どもたちが農業を始めることになった時には、規模拡大を継続してほしいと思っています。

